

# 第30回日本語教育連絡会議プログラム

2017年8月26日、27日

Oldenburg Volkshochschule (オルデンブルグ市民大学)

【8月26日】

08.45 - 09.00	開会・挨拶・連絡事項
09.00 - 09.30	モダリティの人称制限における日独対照 仁科陽江 (広島大学)
09.30 - 10.00	日本語学習支援者の学びの展開— 成人学習論の視点から 佐野香織 (早稲田大学)
10.00 - 10.30	日本語教育と森鷗外 蓮沼啓介 (神戸大学名誉教授)
10.30 - 10.50	休憩：30分
10.50 - 11.20	譲歩のレトリックの言語的指標とその機能 蓮沼昭子 (創価大学)
11.20 - 11.50	ブルガリア・ソフィ大学における学部卒業生修了レポート指導の取り組み 三森 優 (“聖クリメント・オフドスキ”ソフィア大学)
11.50 - 12.20	日本語教育の発祥をたどる— ウェブサイトを活用した教育史の授業— 小川誉子美 (横浜国立大学)
12.20 - 13.50	昼食+施設見学：90分
13.50 - 14.20	学習者の熟達レベルと作文の質的变化 村田裕美子 (ミュンヘン大学)
14.20 - 14.50	学習者の熟達レベルと作文の量的変化 李在鎬 (早稲田大学)
14.50 - 15.20	ロシア人の日本語音声は、日本人にどう評価されるか 小熊利江 (東京大学)
15.20 - 15.50	日本語コンテツにおける科学用語の共起ネットワーク分析 坂谷内 勝 (国立教育政策研究所)
15.50 - 16.20	休憩：30分
16.20 - 16.50	実践報告— 演じることから学びへ「個人化」と「文脈化」での継承日本語教育 根元佐和子 (パリ南日本語補習校)
16.50 - 17.20	日本語タスク別メール文におけるドイツ語母語話者の使用状況 金庭久美子 (立教大学)
17.20 - 17.50	日本語学習者に共通して見られる現象と母語による違い— I-JAS のストーリー描写課題分

	析よりー 奥野由紀子（首都大学東京）
17.50 – 18.20	キュレートで引用力・文章力をきたえる 坂口昌子（京都外国語大学）
18.20 –	集合写真撮影
19.00 –	夕食・懇親会

【8月27日】

09.00 – 09.30	夜間中学と義務教育機会確保法について 土屋千尋
09.30 – 10.00	ゴンザの『新スラヴ日本語辞典版』(1985)の訳注の問題点その2 いぬかいいて
10.00 – 10.30	漢字音の長音・清濁を何から見分けるか 黒沢晶子（山形大学）
10.30 – 10.50	休憩：20分
10.50 – 11.20	入力で書くための指導再考 相川弓映（早稲田大学）
11.20 – 11.50	課題遂行能力を測る期末テスト作成の試みーハンガリー日本語教科書『DEKIRU』を主教材としたコースにおける実践ー 大室文（国際交流基金ブダペスト日本化センター）
11.50 – 12.20	日本企業から内定を得た留学生の就職に対する意識 袴田麻里（静岡大学）
12.20 – 13.20	昼食：60分
13.20 – 13.50	日本語学習者コーパス I-JAS を使った日本語教育研究 砂川有里子（国立語研究所）
13.50 – 14.20	日本語教育学会「中・長期的研究課題」について2ー『理念体系 2016』の内容に即してー 砂川裕一（国際交流基金日本語国際センター）
14.20 – 14.50	楽しく作文を書くための学習環境のデザイン 森下雅子（早稲田大学）
14.50 – 15.20	継承日本語クラスにおける気なるあの子3 若井誠二（カーロリ・ガシュパル大学）
15.20 – 15.50	休憩：30分
15.50 – 16.20	ハンガリー歴史講座での気づきと取り組み 若井ベルナデッテ（OCSIBA）
16.20 – 16.50	演劇と日本語教育 Gehertz 三隅友子（徳島大学）

16.50 – 17.20	文系学部留生を対象としたクラスにおけるビブリオバトル実施 堀恵子（筑波大学・東洋大学）
17.20 – 17.50	クイズー日本語学習教材としてのアプローチ マルコヴィッチ・リリャナ（ベオグラード大学） トリチコヴィッチ・ディヴナ（ベオグラード大学）
17.50 – 18.45	全体会議・閉会
19.00 –	食事会